

大学の世界展開力強化事業 構想概要 早稲田大学

【構想の名称】(タイプA-Ⅱ)

アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想

【構想の概要】

早稲田大学、北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール)の5大学の連携で拠点を形成し、アジア地域統合プログラム(セメスター交換留学、サマー/ウィンター・スクール、ダブル・ディグリー・プログラム)、および共同研究を展開する。アジア地域統合に関する社会科学をベースとした包括的専門性を持つ人材を育成する。

■ プログラムの目的・養成する人材像

高度な専門性を持った人材育成

本構想の目的は、アジア地域統合のための永続的な大学院教育拠点として東アジア大学院(East Asian University Institute: EAUI)を2020年に開設することであり、EAUIを通じて「地球益」と「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材を養成する。

〈2020年 東アジア大学院開設〉



■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

1 共同研究

アジア地域統合に関する共同研究を実施し、その成果を基に学術雑誌Asian Regional Integration Reviewおよび研究叢書を刊行し、アジア地域統合プログラムのテキストとして使用する。

2 教職員合同会議

単位互換・成績管理、そして学位授与に至るまでのプロセスを整備するため、早稲田大学と4大学との間で協定を締結する。また、5大学が一堂に会する教職員合同会議を年2回開催し、定期的にプログラム運営方針や教育内容を協議する場を持つ。

3 ACTS

ASEAN Credit Transfer Systemを活用し、大学院レベルの単位互換制度を確立する。

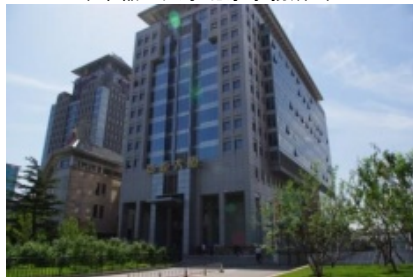
4 評価委員会

外部の第三者評価委員会によって、事業成果を検証し、助言を得る。

5 教職員

アジア地域統合に関する授業科目を提供し、共同研究の中心的役割を担う教員、ならびにダブル・ディグリー・プログラムの開発、学生交流を担当する職員を新たに雇用する。4大学からは交換教員の相互派遣・受入を行う。

〈早稲田大学北京事務所〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

ホームページによる情報公開と他大学へのプログラムの開放

プログラムの成果はすべてホームページを通じて公開する。また、EAUIには、大学院学生交流連盟(東京大学・京都大学・慶応義塾大学・早稲田大学)大学院生にも参加対象を広げ、海外の大学としてはASEANの主要大学をはじめ、Universitas 21やAPRU加盟大学へも段階的に広げていくことを目標としている。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

1 日本人学生の派遣

セメスター制度整備。ウェブサイトによる参加大学のカリキュラムの公開。海外オフィス(北京、バンコク、シンガポール)による生活面でのサポート体制。稲門会を通じたインターンシップ・プログラムの提供および就職支援。

2 留学生の受入

日英2言語対応。プログラムに応じた学籍(委託科目等履修生もしくは外国人特別研修生/正規生)。約900名収容可能な学生寮が竣工予定。指導教員・アカデミックアドバイザー・RA・TA・職員・既存機関が教育・研究面・生活面・就職をサポート。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

1 日本人学生の派遣

初年度はプレ・プログラムで海外の4大学へ学生を5名ずつ派遣する。2年目以降は、セメスター留学として海外4大学へ学生を各大学5名(3年目より年間10名×4大学)、およびウィンター・スクールで毎回5名を派遣する。

2 外国人留学生の受入

サマー/ウィンター・スクールで各大学5名(合計20名)、セメスター留学で各大学から5名(3年目より年間10名×4大学)の留学生を受入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣(短+秋/春)	20+0	5+20	5+40	5+40	5+40
学生の受入(短+秋/春)	20+0	20+20	20+40	20+40	20+40